



埼玉県マスコット「コバトン」&「さいたまっち」

令和3年（2021年）産



麦類の生育概況 vol.6

（令和3年（2021年）5月7日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎ 気 象 概 況：平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は17日にまとまった降雨があったものの平年の50%と少なかった。日照時間は多かった。
- ◎ 生 育 状 況：高温傾向が続いているため生育は平年より早い。生育は概ね順調。
- ◎ 今後取るべき技術対策
 - ・ 排水対策：排水機能維持のため、明きょ・排水路の補修を行う。
 - ・ 雑草防除：カラスノエンドウ、カラスムギ等、収穫物に種子が混入する恐れのある雑草の防除を徹底する。
 - ・ 適切な収穫：作業準備を早めに行い、適期収穫を実施する。また、著しい倒伏や赤かび病が発生した場合、ほ場の刈分けを徹底する。

1 気象の概況

4月の平均気温は第2、6半旬を除いて平年を上回り、月平均では1.0℃高かった。降水量は17日に29.0mmのまとまった降雨があった以外は少なく、月合計では平年の50%であった。日照時間は第1半旬を除いて平年より多く、月合計では平年比120%であった。

2 生育の概況

（1）センター内生育相

ア 小麦（さとのそら：11月10日播種）

高温傾向により生育が早まったことから、草丈は4月21日調査まで高く推移したが、草丈の伸長がほぼ停止した4月28日調査では平年並みとなった。莖数は平年を下回って推移した。4月28日の調査時点で遅発莖は少なく、莖数のほとんどは有効穂になると予想されるものの、有効穂数は平年より少なくなる見込みである。

出穂期は平年より6日早い4月5日となった。出穂以降やや高温傾向で推移しており、5月は平年よりやや高温で推移する予報のため、成熟期は平年（5月29日）より早まる見込みである。

イ 大麦（彩の星：11月10日播種）

草丈は、平年をやや下回って推移し、4月28日調査では平年比93%となった。莖数は、3月までかなり少なかったが、4月以降に遅発莖が多発したこと

から平年並みとなった。しかし、4月28日調査時点で莖数の30%以上が遅発莖であり、遅発莖の多くは無効穂となることが予想されるため、有効穂数は平年より少なくなる見込みである。

出穂期が平年より9日早く、出穂以降、高温傾向で推移していることから、成熟期は平年（5月16日）より早まる見込みであるが、遅れ穂による熟ムラが懸念される。

(2) 県内全般

生育は早まっているものの小麦、大麦とも概ね順調。一部地域の二条大麦で生育前半の乾燥の影響によると思われる遅れ穂の発生がみられる。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

1か月予報（気象庁5月6日発表）では向こう1か月の気温は高く、日照時間は平年並か少ない見込み。また、3か月予報（同4月23日発表）では、6月の降水量は平年並か多い見込みである。

(2) 生育予測

生育は早まっており、向こう1か月は、気温が高いものの日照時間は平年並か少ないと見込まれることから、登熟はやや早まる程度と予想される。

4 今後取るべき技術対策

(1) 排水対策

登熟期の高温や集中豪雨などは、麦類の根にダメージを与えて枯れ熟れを引き起こす要因となる。このため、再度、明きよのつまりの除去や排水路との連結の確認を行い、排水対策を徹底する。

(2) 雑草種子の混入防止

カラスムギやカラスノエンドウはグレーダ等で選別できないため、発生している場合は、必ず収穫前に抜き取りを行う。

(3) 適切な収穫の徹底

刈り遅れるとその間の降雨などによる外観品質や容積重の低下が生じるため、天気予報等にも留意して適期収穫を徹底する。特に倒伏したほ場の適期判断は困難となるので、倒伏程度の軽い部分を先に収穫し、著しい部分とは別刈りするなどして、刈り遅れや穂発芽粒等の混入による品質低下を防ぐ。また、万が一、赤かび病が発生したほ場では必ず刈り分けを行う。

(4) 適切な調製作業

赤かび病の有無にかかわらず、収穫後は速やかに乾燥する。

グレーダは麦種ごとに適切な網目を使用し、適正な流量を保って調製する。

(5) 機械類の整備

収穫適期が早まる可能性が高いため、コンバイン、乾燥機等の清掃や点検等、収穫作業に支障を来さないように早めの準備を心掛ける。

解析・考察に用いたデータ

1 4月の気象表(熊谷気象台日別測定値から集計)

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	15.4	11.0	19.8	16.7	11.4	5.9	3.0	15.4	16.7	31.4
2	11.7	12.2	18.0	18.0	6.2	7.0	0.0	17.1	44.2	31.2
3	13.7	13.2	19.7	19.0	7.7	8.1	1.5	16.9	35.3	30.3
4	15.1	14.1	20.7	20.0	9.7	9.0	29.5	16.0	39.7	30.3
5	16.3	15.0	24.1	21.0	9.9	9.8	0.0	14.8	52.4	31.4
6	15.5	15.9	21.0	22.0	9.9	10.6	12.5	12.6	39.2	32.3
平均	14.6	13.6	20.6	19.5	9.1	8.4	合計 46.5	92.9	227.5	190.2

注. 半旬数値は熊谷気象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は気象台値

2 生育状況

(1)11月10日播種

品 種 名	調査日	草 丈		茎 数		葉 位		風乾重		風乾歩合	
		本年	平年比	本年	平年比	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年差
		(cm)	(%)	(本/株)	(%)	(L)		(g/100本)	(%)	(%)	
さとのそら	4月12日	72.2	107	3.9	78	11.8	0.2	540.9	96	25.0	2.0
	4月21日	86.7	108	3.1	65	11.8	0.2	568.3	84	31.0	6.1
	4月28日	87.6	101	3.5	75	11.8	0.2	814.3	94	35.8	5.3
彩の星	4月12日	85.3	97	7.2	99	10.3	-0.4	774.1	98	29.2	7.3
	4月21日	85.4	90	6.5	90	10.3	-0.4	872.1	90	34.3	8.2
	4月28日	87.6	93	7.2	103	10.3	-0.3	984.7	96	37.6	6.9

注1.さとのそら平年値は過去7年間の平均値。彩の星平年値は過去9年間の平均値。

注2.風乾重は100個体当たりグラム。平年比は%。風乾歩合は風乾重/生体重。

(2)11月24日播種(参考値)

品 種 名	調査日	草 丈	茎 数	葉 位	風乾重	風乾歩合
		本年	本年	本年	本年	本年
		(cm)	(本/株)	(L)	(g/100本)	(%)
さとのそら	4月5日	60.9	4.3	10.8	316.2	18.3
	4月15日	76.4	3.5	10.8	474.3	22.1
	4月26日	89.4	3.3	10.8	673.3	30.5
彩の星	4月5日	95.2	6.2	9.7	616.9	19.2
	4月15日	96.2	5.5	9.7	765.7	25.4
	4月26日	98.2	5.5	9.7	972.7	31.2

注1.11月24日播種は今年度から調査開始(平年値はない)。

3 出穂

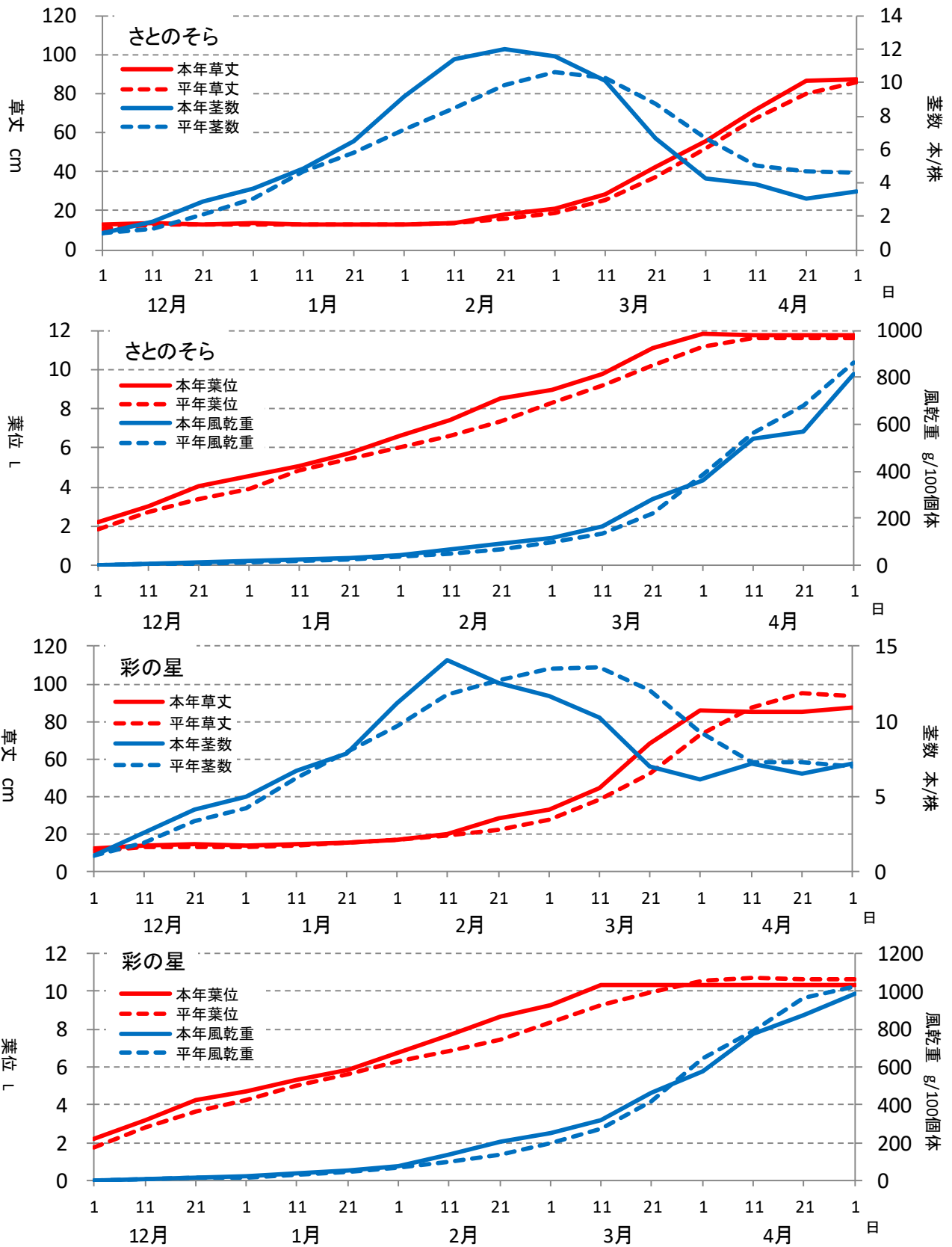
(1)11月10日播種

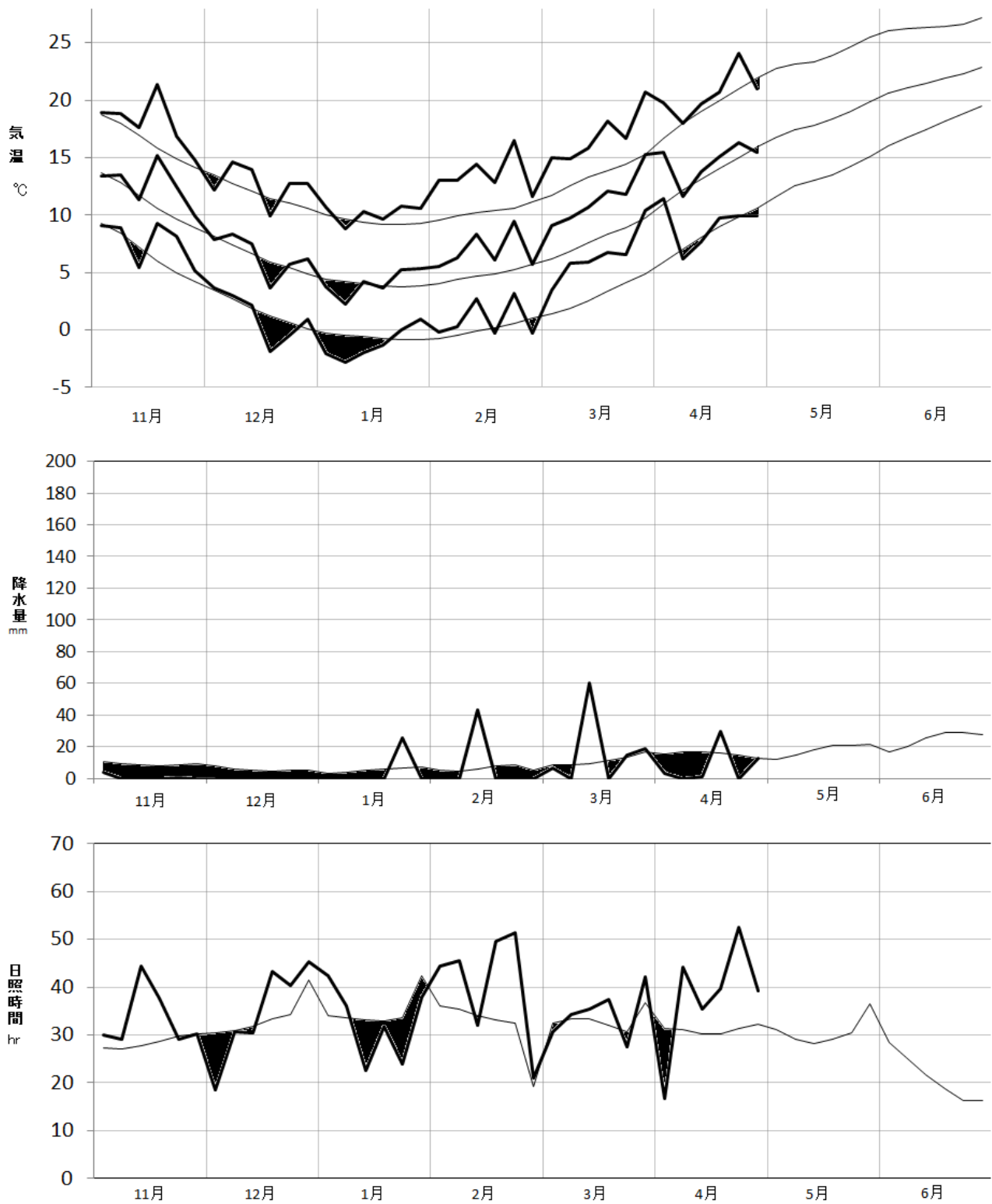
品 種 名	茎立期			出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
さとのそら	3/10	3/12	-2	4/2	4/8	-6	4/5	4/11	-6	4/7	4/13	-6
彩の星	2/19	2/28	-9	3/15	3/25	-10	3/20	3/29	-9	3/22	3/31	-9

(2)11月24日播種(参考値)

品 種 名	茎立期	出穂始(月日)	出穂期(月日)	穂揃期(月日)
	本年	本年	本年	本年
さとのそら	3/15	4/5	4/9	4/11
彩の星	3/6	3/26	3/29	3/31

4 生育経過





令和2年播(3年産)冬作期間気象図
(熊谷地方気象台測定値)